

川本複合施設建設工事設計業務公募型プロポーザル  
審査結果報告書

令和2年8月  
深谷市

## 1 本プロポーザル実施の目的

本公募型プロポーザルは、敷地内に川本公民館、川本図書館（分館）、川本総合支所、高齢者福祉青少年活動複合施設もくせい館等の機能等を有した施設（以下「川本複合施設」という。）を建設するに当たり、発注者の考え方に柔軟に対応できる高い技術力及び豊富な経験等を有する設計者を選定することを目的として実施するものである。

## 2 審査経過

令和2年4月27日（月）	審査委員会第1回会議実施
令和2年5月13日（水）	公募型プロポーザル募集開始
令和2年6月17日（水）	参加申込書等の提出期限
令和2年6月24日（水）	第1次審査の実施
令和2年8月14日（金）	技術提案書の提出期限
令和2年8月21日（金）	第2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）の実施、審査委員会第2回会議実施
令和2年8月26日（水）	庁内会議の実施

## 3 審査結果

第1次審査で選定された7事業者から提出された技術提案書について、プレゼンテーション及びヒアリングを実施し、審査委員会において厳正かつ慎重な審査を実施した。第2次審査において高い評価を得た上位3事業者について庁内会議で協議を行い、次のとおり受注候補者及び次席者を特定した。

受注候補者	株式会社 佐野建築研究所	92.7
次席者	株式会社 国設計	92.1
—	A社	92.0
—	C社	87.4
—	D社	86.7
—	F社	73.7
—	B社	71.4

#### 4 庁内会議、審査委員会の構成

(庁内会議)

深谷市長

深谷市副市長

深谷市教育長

深谷市企画財政部長

深谷市市民生活部長

深谷市福祉健康部長

深谷市教育部長

(審査委員会)

委員長 深谷市教育部長

委員 深谷市教育部次長兼生涯学習スポーツ振興課長

委員 深谷市教育部教育施設課長

委員 深谷市教育部図書館長

委員 深谷市企画財政部次長兼企画課長

委員 深谷市市民生活部川本総合支所長

委員 深谷市福祉健康部次長兼長寿福祉課長

委員 深谷市福祉健康部長寿福祉課主幹兼高齢者福祉青少年活動複合施設もくせい館長

#### 5 審査講評

第1次審査では、参加申込書の提出があった16事業者について、新たな川本複合施設を建設するための設計事務所の能力として、技術職員数、有資格者数及び実績（同種・類似業務）、また、技術者の能力として、配置予定技術者の保有資格、実績（同種・類似業務）、経験年数に関する審査を実施し、評価の高かった7事業者に技術提案書の提出を要請した。

第2次審査では、7事業者から提出された業務実施方針及び4つのテーマ（①「幅広い年齢層が気軽に利用でき、新たな交流を生む複合施設」、②「既存施設の改修方法について」、③「安全・安心な施設」、④「ランニングコストの低減について」）に対する技術提案書について、プレゼンテーション及びヒアリングを実施した。業務実施方針は業務の理解度、取組方針、実施体制、工程計画、配慮事項等の的確性について、技術提案書については、テーマごとの的確性、独創性及び実現性の観点から評価を実施し、これに業務参考見積書評価を加え、審査委員会委員による審査を行った。

庁内会議では、第2次審査において総合的に高い評価を得た上位3事業者の提案内容について総合的に協議し受注候補者、次席者を特定した。

新たな川本複合施設は、公民館、図書館、総合支所、高齢者福祉青少年活動複合施設の機能を有した複合施設の建設となるが、過去に同様の施設を設計した実績を有していることも有り、その豊富な経験に基づく提案の内容は、複合施設としての在り方としてどれも興味深いものばかりであった。7事業者ともに、様々な視点で多機能を有した複合施設として、たいへん質の高い提案内容であった。テーマ①については、これからの市民交流施設として新たな利用方法の提案や外部空間を利用した提案等があり、テーマ②については、現状の問題点（雨漏り、空調機器の故障等）の改善と今後の維持管理コストについて様々な改修方法の提案があり、事業者が既存施設の改修方法の選択に苦慮したことのわかる提案内容であった。テーマ③については、近年多発している想定を超えた自然災害に対する安全性の確保や、避難所として利用しやすい施設を目指している提案内容であった。テーマ④については、材料の選定、設備機器の選定、自然エネルギーの活用等、川本複合施設を今後維持していく上で重要となる技術を提案いただいた。

受注候補者として特定された株式会社佐野建築研究所の提案は、すべてのテーマにおいて的確性、独創性に高い評価が集まった。特に新しい世代の呼び込みを意識したプランニング、避難所として利用する場合の被災者の受け入れやすさが評価された。

次席者となった株式会社国設計の提案は、業務実施方針評価が一番高く、すべてのテーマにおける実現性の高さが高評価に繋がった。特に合宿での施設の利用や学習スペースの使い方等において若い世代を呼び込める可能性を感じさせる点が評価された。

令和2年8月  
深谷市